



在京古高同窓会会報 第36号

〒113-0034 東京都文京区湯島3-20-9-707 佐藤清勝税理士事務所内 在京古高同窓会事務局

TEL (03) 5818-2673 FAX (03) 5818-2674 URL http://www.1tctn.ne.jp/~fu URL http://www.5tctn.ne.jp Email zaikyo-funako@mx5.tctn.ne.jp 発行責任: 曾根 研一 編集長: 亀井 明 印刷: (株)ケーヨー

年頭のご挨拶

会長 三浦 澄能



新年あけましておめでとうござい  
ます。

皆様にはお元気に新春をお迎え  
のこととお慶び申し上げますと共  
に、旧年に同窓会にお寄せいた  
きましたご協力で感謝申し上げま  
す。本年も引き続きご支援をよ  
しくお願い申し上げます。

昨年もそうでしたが、この近年  
は各地での自然災害が続いており  
ます。地震、津波、台風、豪雨、  
洪水、土砂崩れなど、それも日本  
のみならず世界的に起こっており、  
二十一世紀は「災害の世紀」であ  
るとさえ言われるほどです。

正月早々深刻な話で恐縮ではあ  
りますが、最近の信頼できる説で  
は「宮城県沖地震」と「東海地震」  
はかなり発生確率が高くなってお  
り、更に「首都圏での直下型巨大  
地震」も予断を許さないと言われ  
ています。

郷里では防災見直しの住民活動  
が活発になってきているようですが、  
首都圏に住む私ももあらためて

対応について、お互いに再確認し  
たいものです。

さて、われらが誇る古高も、昨  
年ついに男女共学校としてスタ  
トしました。いろんな思いの中  
で昨夏の本部同窓会に出席した際、  
思いもかけずフレッシュな後輩  
たちの活動の一端に触れることが  
できました。

それは、総会のあと懇親会の部  
で、共学一年生の男女混成ブラス  
バンド部の披露があったのですが、  
彼等の懸命な演奏は、発足間もな  
いながら息がよく合い、力強い音  
調は出席者一同から感嘆のどよめ  
きとさえ上がりました。そうした雰  
囲気の中に、母校の伝統に加わ  
るべき新たな共学の明るさを発見  
したのは、きっと私だけではなかつ  
たはずですが、かなり先のことに  
なりません。将来の同窓会の姿を  
ほほえましく想像したことでした。  
皆さんも、ぜひ母校の新しい姿に  
接していただけたらと希望する次  
第です。

最後になりましたが、皆さんの  
ますますのご健勝とご多幸を心か

**お知らせ**  
**第13回古川市内  
四校合同新年会**

・日時: 平成18年1月14日(土)  
11:00~14:45

・会場: 上野精養軒

・会費: 8,000円

・コンサート: 出演者  
ピアノ/野間春美  
フルート/相澤政宏  
薩(バト)ン/成田博之  
サクソフォン/大和田雅洋  
クラリネット/伊藤 圭

・交通案内: JR上野駅公園口より  
徒歩5分

上野公園4番58号  
電話 (3821) 2181

新生の決意

古川高等学校校長 鈴木 克之



新年明けまして  
おめでとうござい  
ます

在京同窓会の皆様には、お健  
やかに新春をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。旧年中に賜りまし  
たご厚情に対し、改めて深く感謝  
申し上げます。本年も宜しくお願  
いいたします。

全国的には景気が回復基調とは  
いえ、大崎では未だ厳しく、今年  
こそ明るい兆しが現れるよう願っ  
ています。また、三月末には、合  
併による新大崎市が誕生し、町の  
様子も大きく変わるものと思われ

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4-3月、年会費は一口2,000円です。
- ・会の健全運営のため、振替用紙が同封された方には、納入をお願い致します。
- ・次回会報第37号は2006年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

雪の絆をより強く

古川高校同窓会 会長 渡邊 義之



月日が経つのは早いもので、共  
学校となりまして早や九ヶ月が過  
ぎました。今のところ特に問題も  
なく、極めて順調に推移しており  
ます。共学1期生である一年生は、  
男女を問わず学校生活を楽しみ、  
態度、行動等もよく、学業に一生  
懸命取り組んでいます。私共とし  
ましても、生徒各人の夢を実現す  
べく、生活・学習両面での指導を  
強化します。男のみの二・三年生  
を含め、生徒諸君には、雪雪健児  
の気概を矜持し、伝統の文武両道  
に励んでほしいと強く願っています。  
共学化を契機に、新生古高が  
果たすべき使命をしっかりと自覚  
し、学力向上と人材育成に邁進す  
る覚悟です。

同窓の皆様には、今後とも、母  
校への変わらないご支援・ご鞭撻  
を賜りますようお願い申し上げます。  
在京同窓会の益々のご発展と  
会員の皆様の一層のご活躍・ご健  
康をお祈り申し上げます、年頭のご  
挨拶といたします。

また、在京同窓会長の三浦先輩  
を初め諸先輩のご指導とご支援を  
頂きながら、雪雪の絆を更に強め  
る為に努めてまいりたいと思っ  
ております。

在京古高同窓生の皆様方、新年  
明けましておめでとうござい  
ます。本年も皆様方にとりまして、素

晴らしい年でありませう、心か  
らご祈念申し上げます。また、日  
頃から同窓会活動に多大のご支援  
とご協力を賜っておりますこと衷  
心より感謝申し上げます次第であ  
ります。

# 本部同窓会だより

## 近況報告

本部同窓会事務局だより



事務局長 清野 千秋

新年明けましておめでとうございます。

早いもので本校の共学化元年も四分の三が経過いたしました。現在では、以前からそうであったように自然な雰囲気の高高です。学習面では、早い時期からの模試、課外、週末課題、土曜講座と盛り沢山です。いかに学習の絶対時間を確保するかの方策ですが、更なる生徒の自発的学習につくことを期待しております。進学状況はこの時期はまだ推薦入試ですが、指定校等例年並みに成果をあげております。

夏の総会の節は、在京同窓会から多数ご出席を賜り感謝申し上げます。野村前会長の築かれた実績をさらに飛躍させるべく、渡邊会長のものと新しい古高同窓会が発表しました。総会においては本田技研社友の斎藤馨氏に記念講演を頂きました。斎藤氏には、本校生徒にもお話しを頂きました。これも在京同窓会の人脈のおかげと感謝申し上げます。

総会の折に承認された同窓会名簿の作成に着手いたしました。会員相互の親睦、連絡に活用することを目的としております。昨今の個人情報取り扱いなどいろいろの困難なこともありませんが、本来の趣旨に沿ってご利用いただきますようご協力をお願いいたします。会の運営につきましては、財政面・企画等課題も多いですが、今後とも会の発展のために変わらぬご支援をお願い申し上げます。

### 役員会のあと

十月十五日(土)午後、役員会が終わり一息ついている。写真Ⅱと、門脇健さん(昭24卒幹事)が自宅の庭に生った柿をナイフで剥き、皆に配りはじめた。黒いごまがいっぱい有る柿柿で、小さい頃に木に登りもぎ取って食べたのを思い出した。

渡辺吉郎さん(昭30卒幹事)たちが、近所の酒屋で千円会費のビールや酒やつまみを調達し、楽しそうに帰ってきた。さっきまでの緊張がほぐれ、乾いた喉が潤ってくる。舌も滑らかになってくる。自由闊達な意見が飛び交い、意外に良いアイデアが生まれることがあり、会の運営には貴重な時間である。役員でも役員会に出席するまではお互いあまり知らない人が殆どであるため、この二次会は大事な懇親の場である。子供や孫ほどの年の差がある人もいるが、同郷の誼で話はずく通じ合う。鈴木桂吾さん(昭26卒幹事)が、毎週教室に通っ

や墨絵を披露してくれた。近い内に船橋のギャラリーに出品するそう、毎日を精力的に過ごしている姿に敬服した。座が盛り上がりつきたところで、上野正司さん(昭39卒幹事)の恒例のカンツォーネが響き渡った。今度の四校合同新年会には出演しないのかと皆から声がかかるほどの腕前である。素人離れした喉に聞きほれている内にお開きの時間になった。



役員会は渋谷道玄坂の信陵会館の会議場をお借りして、年間四回土曜日の午後二時に開催される。出席者は会長、副会長、事務局長、編集長、監事、各卒業年次の幹事である。定例の議題は、総会および四校合同新年会の運営準備と結果報告ならびに会報「蛭雪」の発行準備その他である。各卒業年次の幹事の方がさらに積極的に出席して下さる事を期待いたします。

会員の増強については毎回検討し、出来る手は打っているが、卒業年次の幹事が定まっていないうちがある事と、特に昭和四十年卒前後以降の若い世代の人達の加入が少ない事が最大の課題となっている。会員の皆様のご協力とご意見を是非お願いいたします。役員会の後の二次会で議論し足りなかった人や酒が足りなかった人は、道玄坂を下ったところにある焼鳥屋で満ち足りるまで懇親を深めている。

(昭30年卒・副会長 岩城光将)

### 会員情報の管理

個人情報保護法施行との関係で、同窓会の情報管理について何点かお伝えしようと思います。

まず、当会は個人情報保護法の規制対象にはあたらないようです。しかしながら昨今の情報管理の問題を考慮し、印刷された全体名簿は作成していません。情報は全てデータとして管理され、アクセス制限されたサーバー上に保管されており、限られた役員のみがデータにアクセスできる体制を取っております。会員データにおいては、基本情報、その他、会報送付状況、会費納入状況、返信状況、イベント出席状況(当日欠席・当日出席情報)を一元管理しており、同窓会の会員管理としてはかなり完備した状況かと思えます。在京古高同窓会の名簿が流出することは基本的にありえない体制ですのでご安心いただきたいと思います。

一方、会員より「同期会を開きたいので名簿が欲しい」「同期で誰が登録されているのか知りたい」等の要望がある場合は、用途に応じ学年ごとの名簿を作成してお渡しができます。ですので、事務局宛にご連絡下さい。

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援 おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格	
CALS/EC-インストラクター	4名
電子化ファイリング	5名
ファイリングデザイナー	2名
文書情報管理士	5名

代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)

株式会社 ケーヨー http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp  
本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6  
☎03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

(亀井)

平成十七年度 総会報告

平成十七年度の定時総会は、六月二十五日(土)十一時から神楽坂エミールで行われました。梅雨の合間の晴天で、厳しい夏の到来を予感させるような天候でした。

司会は亀井編集長(S55年卒)が務め、校歌斉唱、黙祷、三浦澄能会長の挨拶のあと、昨年、一昨年に引き続き鈴木桂吾氏(S26年卒)が議長に選任され、次の議案審議に入りました。

〔第一号議案〕第四号議案の内容は次頁に掲載

〔第一号議案〕

平成十六年度決算報告承認の件

〔議案説明〕春田副会長

〔第二号議案〕

平成十六年度決算報告承認の件

及び監査報告の件

〔議案説明〕佐藤事務局長

〔監査報告〕青沼・谷地森監事

〔第三号議案〕

平成十七年度活動計画承認の件

〔議案説明〕曾根副会長

〔第四号議案〕

平成十七年度予算承認の件

〔議案説明〕佐藤事務局長

〔第五号議案〕

役員選任(案)

副会長 岩城光將(S30年卒)

〔議案説明〕横山副会長

以上の五案件につき、満場異議なく可決されました。

第五号議案で選任された岩城副会長は、次年度が役員改選の時期にあたるため、向こう一年間の任期ですが、再び副会長四人体制となりました。

新副会長紹介

岩城氏(写真)は、東京の生まれですが、旧古中卒の父親の郷里・古川に疎開して昭和三十年に古高卒。東北大学工学部応用化学科を昭和三十五年卒業し、平成十四年まで昭和電工(株)及び関係会社に勤務しておりました。その間、昭和五十四年から台湾・高雄の関係会社に十一年間、家族帯同で駐在したことが妻や三人の子供の、その後の仕事・生活に大きな影響を及ぼしているとのことでした。



趣味はゴルフ、パソコン、麻雀、スポーツのテレビ観戦、絵画・映画鑑賞、カラオケ等。飲むのも食べるのも豪快で、その存在感あふれる人間的なスケールの大きさは高校時代から際立っており、現在、在京三十年卒の会長でもあります。

同窓会長・教頭先生(二)挨拶

議案審議終了後、野村同窓会長と、身内のご不幸のためお見えになれなかった鈴木校長先生の代理として急遽出席してくださいました三浦教頭先生よりご挨拶をいただきました。

従来の男子校の枠組みのなかで女子を受け入れた共学化については、それに共鳴できる女子生徒(九十名)が実際に入学しており、今後、学校の活力の高

まりが期待できるとのことでした。進学実績も回復傾向にあるようです。

なお、野村会長はその後、八月に開催された本部総会において勇退され、渡邊義之氏が新会長に選任されました。

講演

講演には、共学化という歴史的な変換を迎えた年でもありませんので、県内の小・中学校教諭から仙台一高などの校長、教員、宮城学院の教授を経て現在、宮城教育大学副学長を務めておられる鈴鴨清美氏(S28年卒・中新田出身)にお願いしました。

講演テーマは「教育における不易と流行」(副題・新生古川高校の発展を期して)と題して行われました。

内容は、教育におけるルネサンス時代を迎えたのではないかとこの視点から、学校教育を取り巻いている時代的特徴として、この二十〜三十年前から高校・大学の進学率の量的な拡大、地域住民の需要の多様化が大きく高まりつつある時代になっている一方、家庭における幼児教育の低下、多様化している生徒に対する教師の指導力、戦後の画一的な教育の平等主義に対する問題点等を述べられました。

本題の伝統を大切に「不易」と、新しい時代・価値観を追求してゆく「流行」については、松尾芭蕉が悟り得た俳論ですが、この二つの視点が二十一世紀の教育のあり方で、一〇九年度という重い歴史の伝統校・

古高に、学びの「を求めたい」という女子学生に門戸を開くべきであるという新しい時代の要請に応えたのが「流行」で、車の両輪に例えておられました。

氏は最後に、仕事柄、いろいろな学校の校歌に接してこられたなか、「母校の校歌が最も素晴らしい」「母校の校歌を歌うと奮い立つ」「母校の校歌を誇らしげに歌える学校が充実した学校」「願いが叶うなら、もう一度三年間、あの学校で学んでみたい」と、卒業生としての母校に対する思いを切々と述べられました。

平成17年度 京古高同窓会総会



講演の鈴鴨清美氏

懇親会

午後一時から場所を懇親会場に移し、伊藤信太郎衆議院議員、佐々木謙次古川市長(S32年卒)にご挨拶をいただいたあと、横山副会長の乾杯の音頭で懇親会が開かれ、和やかなうちに会は終了しました。

(副会長 曾根研一)

平成17年度 総会出席者名簿

三浦 昌彦 (教頭)

野村喜太郎 (同窓会長 S18)  
清野 千秋 (同窓会事務局長 S43)

〔来賓〕 (5名)

伊藤信太郎 (衆議院議員)  
佐々木謙次 (古川市長 S32)

〔会員〕 (64名)

昭14 岩城 有信	昭25 伊藤 隆俊	昭28 中川 裕雄	昭30 佐々木 豊	昭33 野村 高義	昭39 上野 正司
昭19 青沼 康男	工藤英三郎	早坂 明久	佐藤 忠良	福原 喬夫	昭48 高玉 英二
昭20 安部善次郎	鈴木一太郎	渡邊 道雄	佐藤 久	宍戸 志智	昭49 小嶋 正人
(44回) 青野 昭男	遠藤 惇	岩渕 瑞穂	曾根 研一	村上 金吾	昭51 姉齒 公也
高橋 昭典	鈴木 桂吾	佐藤 廣	高橋 広	岩崎 光任	早坂 時男
前田浩五朗	角田 啓輔	早坂 清吉	渡辺 吉郎	佐々木武磨	昭54 小嶋 一利 (兼.在仙同窓会代理)
(45回) 横山 榮治	谷地森 税	昭30 岩城 光将	昭32 佐藤 公哉	菅野 俊次	昭55 亀井 明
昭24 今野 敏	太田 徹	尾崎 光彦	昭33 大友 正行	児玉 隆行	昭57 内海 雅彦
斎藤 馨	佐藤 清勝	門脇 敏明	大山 隆志	菅泉 徹	昭63 栗村 光
三浦 澄能	田口 朝一	京極 恒由	佐々木光一路	我妻幾久寿	
昭25 荒井 隆	春田 紘輔	佐々木英三	鈴木 将夫	昭38 佐々木恭次	

平成16年度 活動報告

平成16年4月1日～平成17年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成16年		
5月29日(土)	会報「蛭雪33号」と総会案内発送	信陵会館
6月27日(日)	総会・講演会・懇親会 講演講師 斎藤 馨 氏 (S24年卒) 演題「故・本田宗一郎氏の遺伝子」	神楽坂エミール
8月8日(日)	本部同窓会総会出席(三浦会長)	古川市グランド平成
12月25日(土)	会報「蛭雪34号」と古川市内四校合同新年会案内発送	信陵会館
平成17年		
1月29日(土)	「第12回古川市内四校同窓会新年の集い」開催 (幹事校・古学)	上野精養軒
3月1日(火)	古高卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式出席(曾根副会長)	古川高校
<p>◎役員会：信陵会館</p> <p>第1回 H.16年6月12日(土) 15名(総会運営他)</p> <p>第2回 H.16年10月23日(土) 18名(総会報告、会報発行準備他)</p> <p>第3回 H.16年12月25日(土) 22名 (四校合同新年会及び定時総会準備他)</p> <p>第4回 H.17年3月26日(土) 18名(四校合同新年会報告他)</p> <p>◎四校合同幹事会：東京文化会館会議室</p> <p>第1回 H.16年10月22日(金)</p> <p>第2回 H.16年11月26日(金)</p> <p>第3回 H.17年1月21日(金)</p> <p>第4回 H.17年2月26日(土)</p> <p>古高出席者：春田 佐藤(清) 曾根 渡辺(吉) 岩崎</p>		

平成16年度 決算報告

<収入の部>

自 平成16年 4月 1日  
至 平成17年 3月31日

科目	決算額(円)	予算額(円)	増減△	備考
年会費	801,000	840,000	△ 39,000	400.5L @2,000
広告料	210,000	220,000	△ 10,000	企業・個人広告
寄付・祝儀金	2,000	20,000	△ 18,000	個人寄付
雑収入	162,612	150,000	12,612	預金利子、総会・新年会剰余金
収入計	1,175,612	1,230,000	△ 54,388	
前期繰越金	2,826,891	2,826,891	0	
合計	4,002,503	4,056,891	△ 54,388	

<支出の部>

科目	決算額(円)	予算額(円)	増減△	備考
会議費	50,335	50,000	335	役員会、会場使用料
印刷費	421,313	500,000	△ 78,687	会報、案内状、封筒他
事務用品費	25,528	30,000	△ 4,472	コピー・文具代
事務所経費	30,000	30,000	0	年間契約料他
通信費	247,681	300,000	△ 52,319	電話、切手、はがき
慶弔費	109,490	150,000	△ 40,510	東京蛭雪賞、祝儀、香典
組織強化費	4,200	30,000	△ 25,800	ホームページ開設費等
旅費交通費	106,620	100,000	6,620	本部総会、卒業式等
雑費	25,585	30,000	△ 4,415	会費払込手数料他
支出計	1,020,752	1,220,000	△ 199,248	
次期繰越金	2,981,751	2,836,891	144,860	
合計	4,002,503	4,056,891	△ 54,388	

次期繰越金 内訳

現金	28,859円
普通貯金	2,255,033円
普通貯金 東京三菱銀行	90,199円
振替口座貯金(Ⅰ)	633,840円
振替口座貯金(Ⅱ)	1,930円
前受金	△2,000円
未払金	△16,120円
合計	2,981,751円

会計監査の結果、以上の報告書の通り誤りのないことを認めます。

平成17年5月10日

監事 青沼 康 男

監事 谷地 森 税



平成17年度 活動計画案

平成17年4月1日～平成18年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成17年		
4月7日(木)	古川高校入学式出席(曾根副会長)	古川高校
5月21日(土)	会報「蛭雪35号」と総会案内発送	信陵会館
6月25日(土)	総会・講演会・懇親会 講演講師 鈴嶋 清美氏 (S28年卒) 演題「教育における不易と流行」	神楽坂エミール
8月7日(日)	本部同窓会総会(出席)	古川市グランド平成
12月17日(土)	会報「蛭雪36号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成18年		
1月初旬	本部同窓会新年会(出席予定)	古川市
1月14日(土)	「第13回古川市内四校同窓会新年の集い」開催 (幹事校・古高)	上野精養軒
3月1日(木)	古川高校卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式(出席)	古川高校
<p>◎役員会： 定例は年間3回、その他必要事案により関係役員会を開催 第1回定例6月11日開催：総会運営</p> <p>◎四校合同幹事会： 四校合同新年会(H18.1.14)にむけて、10月中旬から1月中旬までの間に3～4回開催する。 古高出席者：春田 佐藤(清) 曾根 渡辺(吉) 岩崎 佐々木(恭)</p>		

平成17年度 予算案

<収入の部>

自 平成17年 4月 1日  
至 平成18年 3月31日

科目	予算額(円)	前年実績(円)	増減△	備考
年会費	800,000	801,000	△ 1,000	400C@2,000
広告料	200,000	210,000	△ 10,000	10,000×20口
寄付・祝儀金	20,000	2,000	18,000	個人寄付等
雑収入	150,000	162,612	△ 12,612	総会・新年会剰余金等
収入計	1,170,000	1,175,612	△ 5,612	
前期繰越金	2,981,751	2,826,891	154,860	
合計	4,151,751	4,002,503	149,248	

<支出の部>

科目	予算額(円)	前年実績(円)	増減△	備考
会議費	50,000	50,335	△ 335	役員会 会場使用料
印刷費	450,000	421,313	28,687	会報、案内状、封筒他
事務用品費	30,000	25,528	4,472	コピー・文具代
事務所経費	30,000	30,000	0	年間契約料他
通信費	250,000	247,681	2,319	電話、切手、はがき
慶弔費	150,000	109,490	40,510	東京蛭雪賞、祝儀、香典
組織強化費	30,000	4,200	25,800	若年層対策費
旅費交通費	120,000	106,620	13,380	本部総会、卒業式、入学式等
雑費	30,000	25,585	4,415	会費払込手数料他等
支出計	1,140,000	1,020,752	119,248	
次期繰越金	3,011,751	2,981,751	30,000	
合計	4,151,751	4,002,503	149,248	

44周年自由投稿

ラジオ深夜便の

放送を体験して  
昭和30年卒 木村 哲彌

NHKの「ラジオ深夜便」は、特に夜間よく眠れないという高齢者の間に、ファンが多いように思う。「ラジオ深夜便」を聞いてみると、心が和む、温かい気分になると、元気になるなどという反響が多い。こうして深夜便は強い支持を得て、16年目に入っている。

私は、1960年に記者としてNHKに入り、報道局社会部をはじめ大阪、札幌などで、取材と編集に従事することが多かった。縁があつて、退職後の2000年4月から5年間、「ラジオ深夜便」の放送現場で働いた。この間に私が経験したことや考えたことを紹介したいと思う。

私の任務は、深夜便のニュース・デスクで、全世界のニュースを編集して、放送するという役割であつた。担当する定時ニュースは、1時から4時までの毎正時。その他に、0時40分から放送する『列島今日の動き』。重要なものが、地震、災害、大事故などの緊急報道であつた。夜8時過ぎ、放送センター13階のラジオセンターに入室。初めに、それまでにどの時間にどんなニュースが放送されたかをチェック。次に、全国各放送局から出稿された翌日の行事予定のニュースを整理する。続いては、全中デスク（全国向けのニュースを担当）から手渡されたニュース

70〜80本に目を通す。

私は、ニュースを聞く人の立場に立ち、3つの基準で編集に当たつた。1つ目は、何度も放送されたニュースをはずす。2つ目は、医療関係や物価など生活に密着したニュースを取り上げる。3つ目は、地方の伝統ある行事や東京の話題を積極的に取り上げる。以上の基準で取捨選択した。勿論、その後入稿したニュースで、予定通り進行しないことは、たびたびあつた。

緊急ニュースの放送を、速やかに実施することは、大きな仕事であつた。大雨警報などの気象情報や高速道路の通行止めなどは、原稿をアンカーマンに手渡し、番組の区切りで伝えてもらった。一方地震は、規模にもよるが、震度3以上の地震では、「津波の心配なし」まで、最低3回は、番組を中断して情報を伝えた。このため進行中の番組がズタズタになることもあつた。



NHK退職時の木村氏

9・11連続爆破テロ事件

私がラジオ深夜便の担当の夜には、よく大きな事件が発生した。世界の人々を震撼させた2001

年の9・11連続爆破テロ事件も、

私の勤務時間に起きた。ハイジャックされた民間航空機2機が、ニューヨークの世界貿易センタービルに次々に激突したほか、もう1機は、首都ワシントンの国防総省に激突し、3000人以上の死者が出た事件だ。午後10時を少し過ぎていた。夜の全中デスクは、直ちに事件の速報を持参して、スタジオに飛び込む。続いては、ローカル担当のデスクが、続報を持ってスタジオへ。その後は、全中デスクが国際部や社会部などから入稿する原稿をさばき、私がそれを持ってスタジオへ運ぶ。私は、原稿の運搬者となつた。そうしているうちに、日動だったデスク連中も、続々集まつてきた。全中デスクの周りは、蜂の巣を突つついたような騒然とした状況となつた。ラジオセンターの報道統括が各デスクに役割を分担して与えた。やがて事件一色のニュースは、整理されて流れるように放送された。

朝6時半、「木村さん、7時のローカル・ニュースを出してください」と、命令が下つた。ローカル・ニュース送出の経験がない私は、マニュアル（規定）を読んで対応した。5分間に、ニュース、気象情報、交通情報を盛り込むのだ。ペタランのアナウンサーには、交通情報センターとのラインの確保を依頼し、自分はローカルにふさわしいニュースをかき集めて編集を急ぎ、気象情報を整理してスタジオに入った。なんとか無事に処女航海を終えた。

私は、出勤直前のサラリーマンに的確な情報を伝えることができ、満足感を得た。

「ノーベル賞受賞と談話の遅れ

「名古屋大学名誉教授の野依良治さんが、ノーベル化学賞を受賞することになった」というビッグ・ニュースも、私がラジオ深夜便を担当している時間帯に入ってきた。夜11時の定時のニュースが終わって間もなく入稿した。全中デスクがときばきと指示して、ニュース速報として、この朗報を繰り返して伝えた。

私は、午前0時以降に野依さんの喜びの談話が入ってくれば、喜んで伝えたいものだ、首を長くして待っていたが、1時になって2時になっても入稿しない。午前5時職場に配達された朝刊各紙には、野依さんの喜びの談話が載つていた。NHKは、7時のニュースで教授の談話を放送した。その時、私は30数年前にBK（大阪放送局）に勤務していた時のあの事件を想起した。

大阪在住の女流作家A子さんに、大きな女流文学賞が贈られることになったというニュースが、BKに入った。デスクは、出先の記者クラブのQ記者に談話の取材を指示した。Q記者は、実際には電話もかけず、K新聞社の記者が取材した作家の談話を借用し、放送用の言葉に書き換え出稿した。夜のNHKニュースは、堂々と放送した。翌日、A子さんはBKを訪れ、「私は、NHKの記者から取材を受けていない」と強く抗議した。

野依教授の談話取材では、NHKは、新聞各社と比べて6時間以上も遅れたが、過去の過ちは二度と繰り返さない。自主取材を行うという放送人の鉄則を貫いたことに、私は喜びを強く感じた。

佐藤 啓三

(S40年卒 中新田)

中小企業診断士・ISO審査員・エネルギー管理士



ISO (品質・環境)・技術・経営  
コンサルティング・グループ  
株式会社 経営技術機構 所属

〒105 東京都港区虎ノ門5-3-20 仙石山アネックスビル1階  
-0001 TEL 03-5425-2491 FAX 03-5425-2492  
自宅 〒241-0004 横浜市旭区中白根2-22-19  
携帯 090-1438-9132 E-mail FZN04730@nifty.ne.jp

“アウトソーシングを支援する”

パルスタッフ株式会社

厚生労働大臣認可・人材派遣業 (般13-300435)

代表取締役 渡 邊 道 雄  
会 長

S28年卒 (鹿島台町)

本社 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-4-7  
ロータリービル6F

TEL 03-5364-5251 FAX 03-3330-7585

立川営業所 (042-528-8585) 神奈川営業所 (0462-77-0791)

E-mail: m.watanabe@palsbk.co.jp

# 「大崎市」縁起考

昭24年卒 門脇 健

平成十八年四月一日に古川市、玉造郡鳴子町・岩出山町、志田郡三本木町・松山町・鹿島台町、遠田郡田尻町の一市六町が大合併し、面積約七九五平方キロ、人口約十四万人の「大崎市」として歴史的なスタートを切るようになった。

それで、私見をまじえながら「大崎市」の縁起などについて記してみます。

## 地形的にみた「大崎」

母なる荒雄川(江合川)と鳴瀬川によって形成されたこの肥沃な大地に、東に向かって突き出た大きな丘陵地——その先端の古川市大崎地区には、古くから玉造棚、官衝(国史跡)などがあり、地形的にも要衝の地であったため、当地方の人たちは、「大きな崎」のイメージで認識し、日常的にもそうした呼び方をしていたのではないかと思われまます。

## 大崎氏約二五〇年の統治

室町時代、斯波家兼が奥羽管領として当地にやって来たのは延元二(一二三三)年とも文治三(一一三五四)年とも言われていますが、土着し安定した領主となった三代目の詮持か四代目の満持の頃から「大崎」姓を名乗り、十二代の大崎義隆が天正十八(一五九〇)年に豊臣秀吉に領地を没収されるまでの約二五〇年間、大崎氏が名生城(古川市大崎字名生館)みょうたてを主城に玉造、志田、加美、遠田、

栗原(南部?)の五郡を平穩に統治したと言ったこと。その石高は推定三十五万石とも。歴史的に親しまれて来た「大崎」大崎氏の後には伊達藩の時代ですが、政宗は岩出山から「大崎八幡神社」(国宝)を仙台に移したほど、大崎に配慮し、また藩政下も本石米の穀倉地帯である当地方を大事にし、明治以降も「大崎地方」と親しまれ続け、時を経て「大崎市」になったと思料されます。

なお、将来、加美郡の加美町と色麻町、遠田郡小牛田町などが大合併したなら「大崎市」は、名実兼備の中核都市と言ふことになるでしょう。

昨年(南部?)の五郡を平穩に統治したと言ったこと。その石高は推定三十五万石とも。歴史的に親しまれて来た「大崎」大崎氏の後には伊達藩の時代ですが、政宗は岩出山から「大崎八幡神社」(国宝)を仙台に移したほど、大崎に配慮し、また藩政下も本石米の穀倉地帯である当地方を大事にし、明治以降も「大崎地方」と親しまれ続け、時を経て「大崎市」になったと思料されます。



**昭和25年(高2回卒) 同期会報告**  
昭25年卒 工藤英三郎

二十五年年度卒の二期会を十月三十日に松島で行いました。全部で二十四人、他に恩師の庄司先生、鈴木先生と二十六名の「」でした。

昨年は十九人で今年が少し多かったのではとしたりと。東京からは六人が出席、全体の挨拶を会長がやり、東京の様子を私が話しました。特に無いのですが一月の四校の合同新年会、六月の同窓会を多少詳しく話しました。今年(高2)は卒業五十五年で話の中に戦時中、松島湾に浮かぶ「馬放島」での海洋訓練の話に及びボートでの競争、夜、ハンモックから何人かが落ちた話などで懐かしくまた楽しく一晩を過ごしました。

翌日はいまだに勤務している同級生も結構多くいますので自由解散となりました。来年は古川が当番です。やはり参加した人はみな元氣そのものでした。

昭和30年卒の有志が去る10月22日午後5時から神宮の森の日本青年館で、「輝こう!!心の青春」のキャッチフレーズを掲げ、「古稀の会」を開催しました。

「卒業以来の再会」という九州は大分市から馳せ参じた三塚さん、30年ぶりという三浦さん等々参加者は27名。曾根さんの指揮のもと「心の琴の糸も張る」の校歌斉唱、25日前に急逝した三浦哲夫さんをはじめ、鈴木久昭さん、鈴木徹さんら物故者に対する追悼の黙禱、「母校の近況」報告、「古稀の会開催」までの経過説明があつて、岩城同期会会長の音頭で声高らかに乾杯、

## 輝こう!!心の青春

昭30年卒 門脇 敏明



昭30年卒「古希の会」(於:日本青年館)

それぞれの近況談話のうち、あつという間に予定時間は過ぎ8時に散会したものの、その大半が四谷の二次会へなだれ込んだ次第。

1月の古川四高校新年会、6月の同窓会総会・懇親会への30年卒の出席率は群を抜いて多くなつており、団結力の強さが先輩後輩の羨望の的になっています。もともとノンベイ好きが多いのと、そのきっかけとなつたひとつは、同期の高橋健三さんが母校校長に赴任し、在京同窓会総会に出席されたからです。そして定年退職し(まだまだ現役で頑張っている人もいますが)、「第3?の人生をいかに生きようか?」といったことの情報交換など、それぞれの心境がマッチしたということでもありません。

いわれて有名になつた Samuel Ullman の「青春の詩」(How to Stay Young) ではありませんが「青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいうのだ。優れた創造力、逞しき意志、燃ゆる情熱、法儒を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時はじめて老いがくる。云々(岡田義夫訳)」。

かれはこの詩を何と70歳の時に詠っているわけで、われわれも「七十古来稀」なんて言つてられない。世界一の長寿国の皆さん、健康に留意し、認知症に負けず、大いに人生を謳歌しようではありませんか! という意気大いになつた同期会でした。

## 日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事 代表取締役  
株式会社 アクアバンドジャパン 代表取締役副社長

佐々木 光一路 (昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル  
-0035 第一京浜国道沿い 京急蒲田駅前  
電話 (3739) 2468  
FAX (3732) 7700  
HOT Line 090 3202 6393

会員通信

高齢になって最も要注意は、わが身の健康法です。体操や散歩、会合への参加等々でしよう。といながら自分でもむずかし

幹事さん毎度御苦勞様です。83歳ですがいたって健康。月2回ゴルフ、週2回スポーツクラブに行っております。(S14若城有信)

購遊雨読の生活です。(S15小山 豊) 年を重ねて思うように体が動きにくくなりました。35号会報、嬉しく読ませてもらいました。(S18佐藤幸雄)

今年度は満80歳。まだ現場の仕事やゴルフも元気にやっています。3月に古中31回卒の兄(福田丈夫、S7年卒)が92歳で逝き、生前お世話いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。(S18福田 静)

3月14日(17年)、東京会館にて環境問題講演(53名出席、小池環境大臣挨拶あり)。(S17年)7月(17年)、カリネン島(旧ボルネオ島)にてオランウータン生育地で植樹活動予定。(S18フジ会計事務所渡辺三男)

育英事業のボランティア活動も、10年日になります。(S20財) 仙台育英会理事長 日野次朗) 昨年度(16年)から、職業ではないのですが、市の社協会長に推され、現在、南隣小高町北隣鹿島町との合併協議に迫られています。事務担当の皆様感謝いたします。(S22原町市社会福祉協議会長 門馬秀夫)

高齢になり体力、気力の衰えが痛感されますが一応は元気です。(S23大金昭夫) 元気にしています。東京と清里近くの大泉の山荘と二重生活で、野菜、果樹、花作りを楽しんでいます。お陰で日焼けし、東南アジア人の風貌に変身中。(S24斎藤 馨) 地域活動をしています。(S26佐々木達夫) 今年も諸行事で忙しい毎日です。思い出するのは、昭和20年からの古中・古高文芸部時代です。当時のメンバーで逢えるのは中森高君ぐらい。一堂に会する機会があればと願っています。(S26鈴木桂吾)

腰部手術後、歩行ままならず(総会) 失礼します。幹事さん役員の方々の「苦勞」に感謝します。(S26鈴木俊男) 少し速くなりましたが元気でやっています。皆様の「健康お祈り」しています。(S27跡部太一)

狭い庭ですが、プランターで「趣味の園芸」の毎日です。(S27氏家明朗) 平成16年3月定年退職後、山梨県道志村に住む。(S27大場恒明) 週末には「うたごえ喫茶」で合唱しております。(S27齊藤林寿郎) ニュービジネス造成中。(S27高橋喜三夫) 趣味の鎌倉彫を23年続けています。今年(日17年)は四年なので「鷹」を刻っています。今年が難しいです。毎月2、3日加美町の会社へ出勤しています。(S28早坂明久)

幹事様いつも感謝しています。老化防止のためボランティア活動と家族の介護など身体を動かしています。また現役の早坂清吉さんを中心に情報交換しています。最後は会員の拡大と会費納入会員を増やそうではありませんか。(S29岩淵瑞穂) 愛知万博での見学(外国館)と念願の南仏旅行と6月末、7月上旬(17年)を充実して過せる幸運な年にしたい。(S29菊地 務) この4月から東京都立大学名誉教授という称号だけの身となりましたが、専門の仕事だけは続けていくつもりです。(S29高橋勇悦) 土曜日の午後は勉強会に出席しております。悪しからず。(S29豊田哲夫) 5月末で、46年間の会社生活にピリオドをうちました。(S30門脇敬明) ボランティア等で結構毎日が過ぎております。(S30北野幸助) JAL航空機整備を卒業し、孫と響きあっております。又、GLA高橋子氏主催の「豊心大学で「T-L人間学」を受講中です。6/19は同氏の講演「なぜ、私はこの人生なのか」は「T-L講座」が横浜パシフィコ国立ホールであり、人生に生き生きとしています。(S30岸 孝仙)

「石の上にも3年」という諺の通り、開基三段取得までには、もう少し時間がかかりそうです。常年楽しく拝読いたして居ります。お世話下され有り難う存じます。(S30小関重美) ウォーキングを楽しんでいます。(S30小松伍郎) 「郷土の歴史」「郷土の文学」等、週一回勉強してやっています。ジバンク倶楽部サークルに入っております。役員の方々の御苦勞様です。私は、ゴルフで毎日楽しく過ごしております。(S30師山政夫) 旅行(海外・国内)、ゴルフ、観劇、読書。

若い時、時間がなく仕事に追われたせいか、今遊びまくっております。若い人々には悪い大人(老人)です！幹事の方へ苦勞様です。(S31阿部 進) 自ら適した安寧の日々を送っております。(S31木村智明) 日々、老後を楽しんでおります。(S31浅野平男) 土曜日も診療してしますので、「総会」に出席できず残念です。土曜の夕方か日曜日に開催して頂ければ幸いです。(S31長井内科医院院長 古高同窓会副会長 長井弘策)

私こと去年5月25日、瑞宝軍光章受章しましたことを報告いたします。これもひとえに同窓会皆様のご指導ご支援の賜と存じ、心から感謝申し上げます。(S32佐藤清行) 関東九古会(32年卒)、3月5日に定例会開催。23名の参加者でしたが卒業以来初参加(片谷捷伍君)もあり盛り上がりしました。(S32佐々木勝也) 仕事(行政書士)趣味(庭園管理士)遊び(グランドゴルフ、パークゴルフ)の毎日で。(S32高梨利通) 私立短大及び付属幼稚園の経営に苦勞しています。しかし、女子学生が相手ですから気分的若返ります。当日(総会)は、次男の結婚式ですので欠席させていただきます。盛大なることを心よりお祈り申し上げます。(S32岡崎女子短大 中垣洋一) 6月29日付(17年)で退任(完全退職)しました。(S32野田利美)

同窓会、御世話御苦勞様です。そろそろ一線退きますので、同窓会活動少しはお手伝い出来るかもしれません。(S33佐々木光一) 母校は男女共学とか。高校は男子のみの高校がいいと思います。(S33鈴木節夫) 古里と母校は遠くにありて思うところ。今思えば人間形成に大いに役立った母校。今思いがたきかな。(S33結城睦夫) 健康維持の為にパートタイマーですが、フルタイムで週5日通勤しています。(S33三浦義明) サンデー毎日ですが、まあ元気です。当時の先生方に会いたいと思っております。当時は、官への不満が一杯です。(S34青田行雄) 総務の仕事をやっています。趣味として民謡をやっています。宮城県会でも活躍しています。(S34富士ソフト企画(遊佐成紀)) 昨年(16年)大晦日に第2の職場を定年となり資格試験の準備中です。これらの関係で

でも今回(総会)の出席はできそうもありません。ご盛会を祈念しております。(S35阿部信雄) 35年卒の仲間とは会を組織して、毎年総会及び旅行等行っております。(S35梅沢和男) 経営コンサルタントとして、国の委託を受け開発途上国(ミャンマー、カンボジア、ラオス)等の産業、ものづくりの発展のため出張し、微力ながら協力しています。NPO法人コンソンタの資格を取得しました。NPO法人立ち上げ希望の方には、ご指導致します。(S35川上総合法律事務所 所長室長 (財) 社会経済生産性本部、経営コンサルタント 我妻一美) 昨年(16年)5月に初孫を授かり、今は孫と週一回会うのが楽しみです。亡くなる友人も増えましたが、孫が小学校に入学する迄生きて行き度いと思っております。(S35内田将夫) 母校の益々の発展と関係各位のご尽力に深い敬意を表す次第です。事務局の方々のいつも大変お世話様です。(S35成田ルサービズ 今野正弘) 今年(17年)から娘夫婦と同居。孫17歳との会話が楽しみです。後一、二年現役で頑張る予定。公共工事が激減(特に道路土木)の為受注も減少、経営に努力中。(S36阿部 浩) 古高時代から現在まで、男声合唱を楽しんでおります。(S36伊藤清功) パート勤務して居ります。母校が共学に成って居るのを始めて知りました。(S36藤 理)

現代版の「晴雨読(健康と観光の効用)実戦中。昼は睡眠とスイミング(オフはお風呂巡り)。夜はラジオ深夜便(ジャズ、古典、懐メロ、心の時代etc)。平日は Walking、Talking、Cooking、中高年の三冠王。雨の日は電子写経やPC、DVDに根付たり。晴れたら「祭り」II愛知万博、ソバ祭三祭、全国のおよこい、産直、餃子、京都三祭、花見・紅葉祭り。冠婚葬祭も其処(底)入れには酒、サケで通れませぬ。百葉の長は社長クラスを目指します。(S36菅泉 徹) 代表取締役社長として頑張っています。(S36柳シズ子 電子樹沢 敬) (総会)に出席出来ず大変申し訳ございません。還暦野球大会(千葉、国府台)があり、そちらで頑張りたいと思っております。(S37六戸照男) まだまだ常勤が続きます。仕事も元気が力ですか。事務局本当にありがたうございませぬ。皆さんの近況を知りたいですね。へ会報にでも...

(S36 財) 栃木県農業振興公社 高橋 馨) 退職して2年、昨年(16年)病氣しましたが、現在、家で静養中。(S37高橋国夫) 昨年(16年)10月で定年退職し、田舎暮らしをしています。(S38狩野利夫) 通信を読んで古高・古女・古商の激変に唯驚くばかり、小生も健康で日々働いていますが60歳にいたる今日迄、母校の榮譽を汚すことなく来れた事のみ御報告申し上げます。(S38今野丈夫) 講演テーマも良く(総会)に出席したいのですが、職場の研修があり残念です。(S38東大医学研究所 高橋忠世) 新生古川高等学校の御発展と生徒の皆さんの御活躍を祈念致します。(S38厚生労働省 那覇検疫所 阿部重人) 三浦会長の御話しに「同窓会の拠点」があれましたが、以前にも提案させていただきました。その中が役員が経営している飲食店を会員に紹介して、そこで古里の料理を食べ、飲み、昔話をしたり、同窓生の近況を談じたりするようにしたらどうでしょうか。小生は4月に、田舎暮らしをするため、勤めを早期に退職します。1月の四校新年会には出席できるように予定しておりますが、田舎に帰ったら本部同窓会に出席する予定です。在京中は前佐藤廣事務局長や片平事務局長に大変お世話になりました。(S41大森赤十字病院 小杉誠輝) ○○大学に何名合格も結構ですが、社会人になって真に社会に貢献できる足腰のしっかりした元氣・活力のある後輩を排出できる母校になって欲しいと、切に願っております。(S41) 動物衛生研究所 高橋秀之) 今年から上野支部の研修部副部長になりました。7月9日(17年)に池袋東口に宮城県ふるさとプラザが開業します。現在、東京宮城県人会連合会の理事をしております。(S46高橋 淳) 札幌での3年間の単身生活にピリオドを打って東京に戻ります。機会をみつめて会合に出席したいと思っております。(S52日本放送協会 平野幸三) 母校の共学化、在校生が望むならOKですがね、OBの意見も聞いてもらいたかったです。母校は生徒とOBのもの。知事のもので決まっています。(S56尾形俊彦) この4月(17年)に東京にまいりました。どうぞよろしくお願いたします。(S57仙台市東区事務所 内海雅彦)

四校合同新年会  
新春コンサート出演者決定

1月14日(土)に開催

5年前に行われた「新年の集い」の「新春コンサート」では、郷土から、母校から、こんなに素晴らしい音楽家が活躍していることに、多くの方が感嘆されたのではないのでしょうか。

あの感動が再び、「新春コンサート」第2弾として、開催されることになりましたので、以下に出演者のプロフィールをご紹介します。(曾根)

野間春美(ピアノ)

古川中学在学中から各種ピアノコンクールに入賞。昭和63年古川女子高校を卒業後、桐朋学園大学ピアノ科を経て同大学研究科修了。在学中から室内楽をはじめとするアンサンブルピアノリストとして活動を始める。94年(H6年)、友愛ドイツ歌曲コンクールで優秀伴奏者賞を受賞。97年(H9年)、日本室内楽コンクール入賞。放送やレコーディングで活躍する他、ソリスト・合唱団との共演も多い。現在、桐朋学園大学嘱託演奏員。

相澤政宏(フルート)

浦谷中学を経て昭和62年古高卒。東京音楽大学在学中、若干20歳で東京交響楽団に入団。91年(H3年)、日本フルートコンベンションコンクール第3位入賞。最近は同楽団の演奏会にソリストとして度々登場し好評を博している。オーケストラ・ソロ以外にも室内楽やレコーディングなど幅広い活動をしている。現在、東京交響楽団

首席フルート奏者、日本フルート協会理事、東京音楽大学非常勤講師。

成田博之(声楽IIバリトン)

高倉出身。昭和62年古高卒。国立音楽大学声楽家を経て同大学院オペラコース修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。第1回多摩フレッシュュコンクール第3位。第8回日本声楽コンクール第1位。第69回日本音楽コンクール第3位。03年(H15年)国際ミトロプーロス声楽コンクールで最高位受賞。国内外で数々のオペラや宗教曲、第九等のソリストを務め、最近特に注目されている。

大和田雅洋(サクソフォーン)

小牛田町出身。平成元年古高卒。

東京芸術大学を経て96年(H8年)同大学院を修了。第7回日本管打楽器コンクール第2位。92年第1回ジュール・ド・ブリース国際コンクール(スエーデン)にてセミファイナリスト。93年第10回日本管打楽器コンクール第2位。第6回宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門第3位(1位なし)。アドルフ・サクソス国際コンクール(ベルギー)第5位。現在、アルデイ・サクソフォーン・カルテットを主宰。洗足学園音楽大学講師。日本サクソフォーン協会運営委員。

伊藤 圭(クラリネット)

古川市出身。平成8年古高卒。東京芸術大学在学中の99年(H11年)、東京文化会館主催「新進音楽家デビューコンサート」オーディションに合格。01年(H13年)同

大学卒業。02年(H14年)JILA音楽コンクール室内楽部門第1位。04年(H16年)第6回日本クラリネットコンクール第1位。東京芸術大学管弦楽研究部(藝大フイルハーモニー)を経て、現在、東京都交響楽団クラリネット奏者。

心よりご冥福をお祈りいたします

- 早坂 哲郎氏 (昭9年卒) 平成17年1月8日
- 伊藤 正雄氏 (昭9年卒) 平成17年4月13日
- 富川 吉郎氏 (昭10年卒) 平成17年5月31日
- 佐々木伯児氏 (昭21年卒) 平成17年4月23日
- 三浦 哲夫氏 (昭30年卒) 平成17年9月27日

編集後記

今回は都合により例年より一週間早い発送となりました関係上、スケジュール的には厳しいものになりましたが、キーヨーさんにご協力をいただき何とか間に合わせることができました。

個人的にはインターネット上のコミュニティ「ゆびとま」、ソーシャルネットワーキング「ミクシィ」に登録していますが、そこには合わせて約350人の若手の同窓生が登録されています。もはや同窓会独自で若手を呼び込むことよりも、こうした場を同窓会活動につなげようとするよりも、こうした場を同窓会のようなものとして機能させるほうが現実的という気がしています。(亀井)

趣味三昧

特定非営利活動法人  
日本刀剣保存会

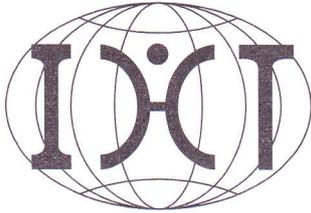
理事長 宮野 貞司  
S34年卒

〒142-0053 東京都品川区中延3-13-17  
TEL・FAX 03-3782-5326

税理士 青沼康男  
不動産鑑定士

(昭和19年卒)

〒108 東京都港区芝4-6-16 ライオンズ三田805-0014  
TEL 03-3452-2004  
FAX 03-5476-8006



30年のキャリアと世界のネットワークを駆使し、個人の旅行、グループ研修、修学旅行のお手伝いをさせていただきます。～同郷の皆様、ぜひお気軽にご相談ください～

(株)インターナショナルヒューマントラベル

代表取締役社長 中鉢 泰平/鳴子出身・S37卒

〒164-0001 東京都中野区中野2-29-15-204  
TEL・FAX 03-5385-3693